

多摩市議会の各常任委員会では、それぞれの所管にかかわる市政の課題について、市民のみなさまとの情報共有や意見の聴取のため、必要に応じて意見交換会等を行っています。

今号では、今年の1月から2月にかけて実施した意見交換会の内容をご紹介します。

生活環境常任委員会 × 多摩グリーンボランティア森木会 しんぼくかい



みどりの保全などのボランティア活動や、講座などを通じたボランティア育成の取組みの現状と課題について、多摩グリーンボランティア森木会の役員の方々と2月4日に意見交換を行いました。

人と自然が共生するまちづくりを自主的、自発的に進めることを目的に

200か所を超える公園や緑地にある豊かなみどりは本市の魅力の一つです。多摩グリーンボランティア森木会ではその公園や緑地にある雑木林の維持管理やグリーンボランティア講座を開催し市民ボランティアの育成に取り組まれています。

2021年に本市は市制施行50年が経ち、市内のニュータウン開発時に植えられた木も同様の年月が経ちました。しかし木は樹齢25年あたりで、二酸化炭素固定量が徐々に下がってくるため、それまでに萌芽更新ほふがこうしんさせることが大事であること。さらに本市の特徴として、植えられている土の層が薄く根の張りづらさがあると伺いました。そのため講座では暴風で木が揺れる実態をビデオで見てもらい、適切な萌芽更新

が行われなければ倒木の恐れがあること、人の手を入れていく必要性について学んでもらっているそうです。

一方で、このような活動にかかわる人材の発掘や、必要機材の更新にかかる費用などの課題があることがわかりました。

楽しみながらボランティア活動ができるように

今後も多摩市が誇る、地球環境にも重要な「多摩市のみどり」を守る活動を、限られた財源の中で継続していかなければいけません。ボランティアの人が安心して、楽しく活動できるよう、その環境整備について議会としても市とともに考える必要があると感じました。



子ども教育常任委員会 × 東寺方小学校世話人会



市は、昨年秋から貝取小学校と連光寺小学校で週5日の法人委託の放課後子ども教室を実施しています。そして、今年度、待機児童の多い東寺方小学校と南鶴牧小学校の2校でも実施します。今回、今年度実施となる東寺方小学校の保護者から貴重なご意見、ご要望をいただきました。

保護者の方からの放課後子ども教室についての要望

体育館は、子どもたちが体を動かすのに大切な場所ですが、近年の猛暑は命にも関わるとも言えます。現在、空調も断熱も設置していないため、一様に、何とか設置して欲しいとの切実な声をいただきました。

見守りの人数について、委託先の法人の職員に無理をさせたくないという配慮する声と、これまで、放課後子ども教室を実際に運営していたため、大変さを熟知していることから、プロの人でも子どもを見守るのは大変だとして、余裕のある人数を法人に付けるべきとの声もいただきました。

週5日で、夏休み実施と聞くと、居場所というより安心な預かりの場だと期待する保護者も多いので、学童クラブとの違

いを周知する必要があるとの指摘を受けました。

世話人会の保護者の皆さんの思い

東寺方小学校の保護者の方は、市内のすべての学校に、放課後子ども教室の実施と体育館の空調の設置を要望されてきました。我が子、あるいは、自分の地域だけではなく、多摩市全体が、こどもまんなかとなるように考え行動されていると感じました。

